

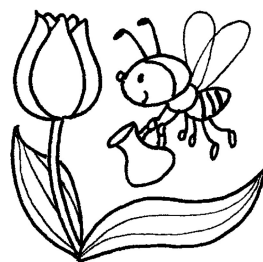
来春4月から本園に入園されますこと、心からお喜び申し上げます。

幼児期は、人間形成の基礎を培う大切な時期です。子どもたちは、発達の年齢に合わせていろいろなことを経験し、遊びの中で友だちといっしょに育っていきます。子どもたちのすばらしい素質を伸ばすための土台をしっかりとつukっていくのが幼稚園です。

私たち職員は、喜びとともに責任を自覚し、個性と主体性を大切にした幼児教育の創造に取り組んでいきたいと思っています。

どうか保護者の皆様の力強いご援助を賜りますようお願い申し上げます。

幼稚園ってどんなところ？



幼稚園とは

3歳から小学校入学前の子どもは、文部科学省告示の「幼稚園教育要領」に基づく教育が受けられます。この時期に思いきり遊びきることで、その後の学びや創造性が豊かになるといわれています。

幼児期の子どもたちは、まわりへの興味・関心・人とのつながりなどが急速に広がり、保護者への依存から自立に向かっていきます。初めての集団生活の中で一人ひとりのよさや可能性を伸ばしていくところが幼稚園です。このため、市立幼稚園では幼稚園教育要領にそって『遊び』を大切にした教育をおこない、教科書を使わず『遊び』中心の活動を行っています。子どもたちは、様々な『遊び』を通して、うまく人とかがわれるようになったり、言葉が豊かになったり、自然の美しさや不思議さなどに気づいたり、小学校以降の学習基盤をつくっているのです。

遊びは幼児にとって重要な学びの場

子どもたちは、生活の中で自分から周囲の人や自然、遊具などいろいろな物にかかわって活動していくことで、興味や関心、表現力、豊かな感性などが育ち、磨かれます。また、遊びの中には達成感や充実感ばかりでなく、挫折や葛藤などを味わう体験もあります。このように『遊び』には、子どもたちが人間として成長していくために必要なことがたくさん含まれていて、「学び」そのものともいえるのです。



◇教育目標◇

心豊かな生活体験を通して「生きる力」の基礎を培う
～「あと伸びする力」を育てる～



～めざす子ども像～

- ◎心身ともにたくましい子ども
- ◎意欲的に行動する子ども
- ◎仲間とかかわって、それぞれの良さや違いを認め合える子ども

私たちは、子どもへの保護者の期待と願いを受け止め、発達段階を踏まえながら、遊びへの欲求を活発にし、自発性を伸ばし、意欲的に活動する能力や態度を育てていきたいと考えています。

子どもの内面に働きかけ、一人ひとりのもつ良さや可能性を見だし、その芽を伸ばすことをねらいとしています。従って、幼児期の教育は、目先の結果のみを期待しているのではなく、生涯にわたる学習の基礎を作ることを重視しているといえます。



こんな方法で

- 個性や発達の特性に応じた指導をおこない、一人ひとりを大切にした保育をします。
- 幼児同士の関わりを大切に、様々な集団活動を通して、自尊感情（自分が愛される存在であり、自分のことが好きと思う気持ち）をもち、他の人を思いやれる心を育成します。
- 生活習慣の基本を大切に、挨拶やお礼、感謝の気持ちを生活のなかで自然に身につくように努めていきます。
- 一年を通して、自然のなかでいろいろな体験をしながら発見する楽しさや、不思議に思う心、その体験を友だちと共有する心を培います。
- 野菜を育てたり収穫したり等、様々な食育活動を通して、生命の不思議さに気づき「生きる」力を育てます。
- 異年齢児とのかかわりを通して、思いやりの気持ちやあこがれの気持ちを育てます。
- 幼稚園における文字や数字に関わる経験は、生活全般の中で自然な形で興味や関心がもてるように努めていきます。
- 家庭や地域との連携を大切にした保育を進めていきます。また保育園、小学校、中学校との連携を深め、学校教育との連続性を大切にします。

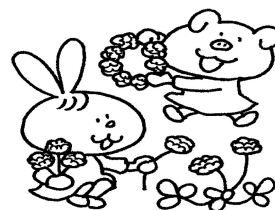
日頃の保育内容の詳しいことは、毎月の園だよりやクラスだよりでお知らせします。

◇地域の中で豊かな生活体験を◇

〈園と家庭・地域との連携〉

幼児期の教育は、大きくは家庭と幼稚園で行われます。子どもの生活の基盤はそれぞれの家庭にあり、幼児期の教育を進めていくために、園生活と家庭生活は切り離して考えることはできません。家庭と幼稚園それぞれの場における子どもの姿や思いを共有することが大切です。

- 家庭は、幼児の成長に大切な心を育てる場です。
- 幼稚園は、家庭では経験できない社会・文化・自然にふれ、幼児の自立に向けた基盤を育成する場です。
- 地域は、様々な人たちとの交流の機会を通して豊かな体験が得られる場です。



◇外遊びで豊かな自然体験を◇

〈室内より外へそして自然のなかへ〉

園庭や自然のなかで遊んでいるときの子どもの表情は、生き生きとして明るいです。雨の日は雨の上がるのを待ちわびて園庭に飛び出して行きます。それは、外遊びが楽しいからです。子どもの遊び場は、自由にのびのびと活動できるところが最も適しています。さらに変化や刺激のある“自然”は、最高の遊び場です。自然が少なくなっている中でも、外に出かける活動を続けていきたいと考えています。

外遊びは、子どもの健全な成長発達にとって大切なものが含まれています。遊びは運動することであり、体を鍛えるとともに心身の発達を促します。

また、季節や幼児の活動に応じて園外保育に出かけます。毎年同じところに出かけるとは限りませんのでご了承ください。

外遊びを通して



- ☆ しなやかな足腰と強い体をつくる。
- ☆ バランス感覚を養う。
- ☆ 好奇心・探究心・思考力・豊かな感性を培う。
- ☆ 五感を磨く。
- ☆ 想像力と創造力が豊かになる。
- ☆ 困ったときに助け合う気持ちと力が身につく。

◇教育時間について◇

月・火・木・金曜日 午前9時 ～ 午後3時
水曜日 午前9時 ～ 午後1時



◆登園時間は、午前8時30分～午前9時です。

◆4月、新入園児は、徐々に保育時間を延長していきます。

◆5月後半には全園児、午前9時～午後3時になる予定です。

◆行事等の都合で変更になることもあります。（詳しくは毎月の園だよりでお知らせします）

・幼稚園の1日の保育時間は、4時間が標準となっております。各園で、幼児の発達や園の実情、季節などに適した時間を定めています。

◇給食について◇

月・火・水・金曜日・・・給食（給食会社からかわいい弁当箱に入ってとどきます）

木曜日・・・・・・・・・・・・・おにぎり弁当（持参）

◆おにぎりの中に梅干し、昆布、かつお等入れて2～3個をアルミホイル
またはラップに1個ずつ包んで持ってきてください。

◆行事等により変更することもあります。

◆毎月給食だよりを配信し、毎日の献立をお知らせいたします。



◇休園日について◇

・7月下旬(夏期プール)・8月下旬(夏期保育)があります。

☆土曜日・日曜日・祝日

☆夏期休園日 ☆冬期休園日 ☆春期休園日があります。

◇災害時の措置について◇（台風・地震等）

☆「和泉市」に大雨警報、大雨危険警報、暴風警報又は特別警報（大雨、暴風、暴風雪、大雪）が発令される場合の対応について

- ① 午前7時の時点で大雨警報、大雨危険警報、暴風警報又は特別警報（大雨、暴風、暴風雪、大雪）が発令されている場合は、臨時休園とする。
- ② 午前7時以降、保育が始まる9時までに大雨警報、大雨危険警報、暴風警報又は特別警報（大雨、暴風、暴風雪、大雪）が発令された場合は、臨時休園とする。
- ③ 登園後、大雨警報、大雨危険警報、暴風警報又は特別警報（大雨、暴風、暴風雪、大雪）が発令された場合は、早急にお迎えに来ていただく等、園児の安全を最優先に考え、また、発令される可能性がある場合は、和泉市こども・健康部 こども未来室と協議により措置を決定する。

なお、氾濫警報、氾濫危険警報、氾濫特別警報の場合は通常保育となります。

- ④ （前日）翌日に「和泉市」に大雨警報、大雨危険警報、暴風警報又は特別警報（大雨、暴風、暴風雪、大雪）が発令されること等が予測される場合、市において翌日を臨時休園にするか判断の上、お知らせします。

☆震度5弱以上の地震が在園中に発生した場合は、保護者の身の安全を確保の上、子どものお迎えをお願いします。

保護者の方のお迎えが困難な場合は、緊急連絡カードの災害時引き取り者欄に印のある方へ十分確認の上、引き渡します。

☆午前0時以後に和泉市域で震度5弱以上の地震が発生した場合、臨時休園とします。

☆震度4以下の地震が発生した場合のうち、安全確保が困難である場合は家庭の判断により自宅待機をお願いします。

☆午前0時以前であっても、震度7クラスの大地震が発生した場合は、被害状況等により臨時休園することがあります。

- ・園児の登降園は、原則として保護者が責任をもって送迎してください。
代理人がする場合は、事前に園に連絡してください。
- ・登降園時に保護者は、登降園カードを首からかけてください。
(登降園カードは4月に園よりお渡しします)
- ・朝8時30分～9時の間に登園してください。
- ・園には駐車場がありませんので、原則として徒歩、自転車で登園してください。



幼稚園の前の道路は、時間帯通行規制の道路です。

- ・午前7時～午前9時 ・午後1時～午後3時 までは、車両通行禁止です。
車を「レストランさと」の駐車場に停めることはしないでください。
近隣の迷惑になることのないよう、ご協力をお願いします。

◇入園までに習慣づけてほしいこと◇

☆早寝(午後9時ごろ)早起き(午前7時ごろ)の習慣をつけましょう。

☆朝ごはんを必ず食べましょう。午前中の遊びのエネルギーになります。

☆給食は箸で食べます。箸の持ち方を教えて家庭でも箸で食べるようにしましょう。

(3歳児クラスは、お子さまにに応じて、スプーン・フォークで食べていただき、入園後の様子を見ながら、お箸をすすめていくのもよいでしょう。)

☆朝の洗顔、毎食後の歯磨きの習慣をつけましょう。

☆衣服の着脱は自分でしましょう。服をたたみ、決まったところへ片づけることも大切な習慣です。

入園までにできなくても、まず幼稚園は楽しいところであることを知らせてあげてください。できることから徐々に習慣づくようにしていきましょう。

◇保護者参加の主な行事(予定)◇

- ・入園式(新入園児のみ)・PTA年度はじめ総会
- ・親子さんぽ(年少)・歯科健診
- ・保育参観(年2回程度・発表会)・みんなあつまれ(年中)
- ・個人懇談・運動会・卒園式(卒園児のみ)・PTA年度末総会

詳しくは、毎月の園だよりでお知らせします。



◇特別支援児保育について◇

和泉市の幼稚園では、和泉市特別支援児保育実施要項に基づき、集団の中で個別の配慮や支援を必要とする児童に、職員が必要に応じて支援をおこないます（特別支援児保育）。子どもたちが、遊びや生活を通して一人ひとりの違いや個性を尊重し、お互いに認め合い、仲間と共に成長していくことをめざしています。

◇退園について◇

- ・都合で退園する場合は、1か月前を目安に理由を園長に届けてください。
- ・正当な理由がなく欠席が1か月以上続いた時、また、諸費用を3か月以上滞納した場合は、退園して頂くことになります。

◇健康管理について◇

○園で怪我をした場合

子どもは遊びの中で様々なけがに遭遇し、その経験から慎重さを身につけます。幼稚園では、常に安全を心がけていますが、思いがけずに、けがをすることもあります。医師の治療が必要と思われるけがをした時は、保護者の方に連絡をさせて頂き、病院で受診します。費用は、学校災害給付制度を適用します。

費用は一旦、保護者の方に支払って頂きます。後日、払戻金があります。制度の詳しいことは加入時(4月)にお知らせします。

○園で発病した場合

医師の診察が必要と思われる場合（発熱や伝染病の発疹などが生じた時・嘔吐した時）保護者に連絡し、お迎えに来ていただきます。

○園を休まなければならない場合

- ・朝、熱のあるとき
- ・下痢、嘔吐のあるとき
- ・伝染性の病気にかかったとき

（例） 溶連菌感染症・感染性胃腸炎・流行性結膜炎・水ぼうそう・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）など

病気が治って登園するときは、医師に『学校保健意見書』を書いてもらい、園に提出してください。用紙は園にあります。また用紙は医療機関にあるものでも構いません。

○薬について

薬の服用が必要な場合は、健康ではない状態ですので、ご家庭でゆっくりと経過してください。薬の服用については、医師と相談していただき、朝、降園後、夕食後などにしていただき、ご家庭で服用するようにしてください。

○園でおこなう「健康診断」について

内科健診・歯科健診・尿検査・視力検査・聴力検査
健康診断の結果は事後にお伝えします。



○発育測定について

2測定（身長・体重）は学期ごとに計ります。体重測定は毎月おこないます。

「発育測定」の結果は、出席ノートでお知らせします。

◇保護者負担金◇

毎月、諸費用を徴収します。

給食費（5,400 円）、教材・食育費（400 円）、PTA 費（200 円）、写真代（200 円）、絵本代（420 円～480 円位）が必要になります。

☆上記の金額は、令和 7 年度のもので、金額は、多少変動する可能性があります。

◇諸費の納め方◇

自動振替制度にご協力をお願いいたします。

給食費、教材・食育費、PTA 会費、写真代、絵本代を、納入していただきます。

幼稚園指定金融機関はゆうちょ銀行です。自動振込み利用申込書に必要事項を記入し、ゆうちょ銀行に提出してください。毎月 1 日に引き落としになります。（土日の場合はその次の日です。）郵便振替の用紙を記入し、登録した郵便局へ提出してください。振込手数料がかかります。

◇その他・園外保育の交通費について

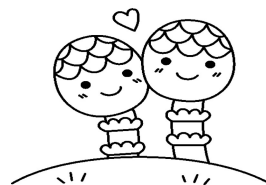
電車を使用して園外へ出ることがあります。その時には、実費を徴収させていただきます。

～入園用品の物品販売について～

日時 令和 8 年 2 月 2 0 日（金）

午後 2 時～

場所 職員室にてお渡しします。



- ・当日は保護者の方だけでも結構です。
- ・物品と引き換えに代金のお支払いをお願いします。
- ・代金は、業者ごとにおつりのないよう小袋（氏名・代金記入）に入れてください。（小袋は、ご家庭にあるどんなものでもかまいません。）
- ◎ ひかりのくに（保育用品） ◎ ふしぎや（制服） ◎ 木村工房（かばん）
◎ 田中宇（アルバム）
- ・購入用品に間違いがないか必ず確認してください。
- ・入園までに、用品すべてによくわかるよう名前を書いておいてください。
- ・入園用品申込書にあります保育用品の中で★印がついているものは幼稚園で預かります。
- ・諸費用徴収を現金で希望される方は、申し出てください。
- ・アレルギーのこと、その他相談がある方は、職員まで声をかけてください。

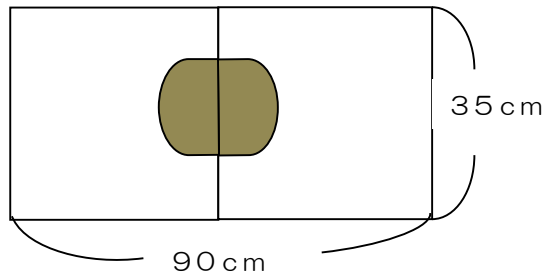
入園までに準備してください

(持ち物には必ず名前を書いてください)

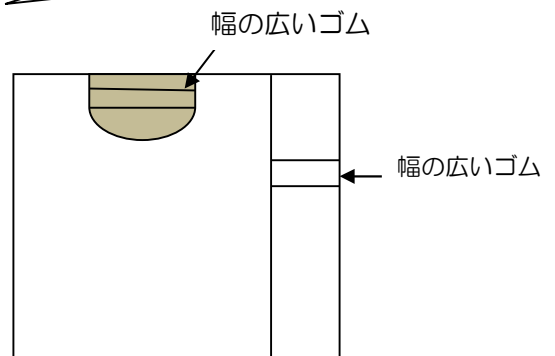
サイズは目安にしてください。

1. 給食エプロン

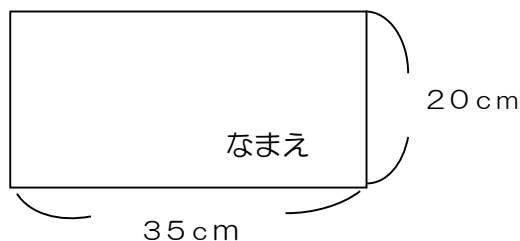
(布の中央に頭が入るように切り込みをいれる)



(両脇と背中にゴムを縫い付ける)

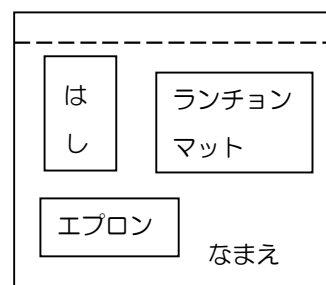


2. ランチョンマット



3. 給食袋

(エプロン・コップ
ランチョンマット・箸が入る袋)

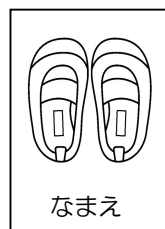


子どもが出し入れしやすい大きさの袋にしてください。

4. うがい用コップ袋

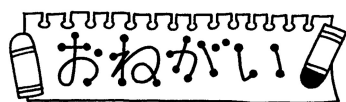


5. 上靴袋



6. その他

- ぞうきん 2枚
(フェイスタオルで作る場合は、半分に切って2枚作ってください)
- ナイロン袋・1包み
(縦35cm×横25cm・100枚入り)
- ティッシュ箱 3つ



☆水分補給のため、毎日お茶を持参していただきます。ストロー付きの水筒は不衛生になりますので、ふたつきの水筒をお願いします。

☆夏期に遊び着として、着替え用にTシャツや半ズボン等を持ってきていただきます。また、冬期には、長袖制服の上にジャンパー上着をきて、園外に出かけることもありますが、園に持ってきていただく衣服は、事故防止のために、ひも付きやフード付きの衣服は持ってこないようにお願いします。

☆上靴は名前とお子さんが分かるマークなど書いていただけると分かりやすいです。

入園式のご案内

日 時 令和8年4月10日（金曜日）

受 付 午前9時30分～9時50分

受付の後、写真撮影とクラスの場所やお子さまのマークを確認していただきます。9時50分までに余裕をもってお越しください。

開 式 午前10時

場 所 国府幼稚園ホール

園児の服装 半袖制服の上に長袖制服・半ズボン・カラー帽子

持ち物 上靴（上靴袋に入れて持ってきてください）
お道具箱（粘土・粘土ケース・はさみ・のり・クレパス）
粘土板・ぞうきん・ナイロン袋・ティッシュ箱
通園カバンはいりません。
保護者の方は、スリッパをご準備ください。

- 保護者同伴でご参加ください。
- お祝いの挨拶・職員紹介・記念撮影などを行います。
- 当日、名札・出席ノートをお渡しします。
- 保育用品は、すべてに氏名を記入してください。
- 式終了後、進級児の保護者も加わって、PTA 年度はじめの総会を行います。

